

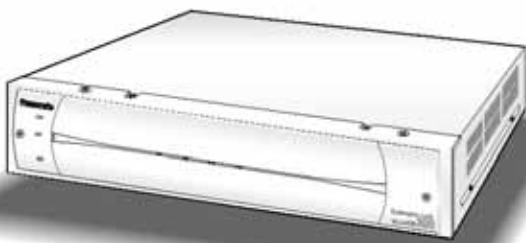
## 設置マニュアル

### 増設ユニット

## 品番 WJ-HDE300シリーズ

### もくじ

<b>各部のなまえ</b> .....	2
前面 .....	2
内部スイッチ .....	2
後面 .....	2
<b>接続する</b> .....	3
接続のしかた .....	3
ラックマウント時の配線のしかた .....	4
<b>設定する</b> .....	5
SINGLE モードに設定する .....	5
RAID5 モードに設定する .....	7
HDDを初期化する(フォーマット) .....	9
<b>設定を変更する</b> .....	11
RAID5 モードでHDDの台数を変更する .....	11
モード設定を変更する .....	13
<b>エラーを解除する</b> .....	14
RAID5 で故障HDD 交換して復旧させる .....	14
エラー解除して再設定(設定変更)する .....	16
<b>ユニット番号を確認する</b> .....	18
ユニット番号の確認のしかた .....	18



上手に使うって上手に節電

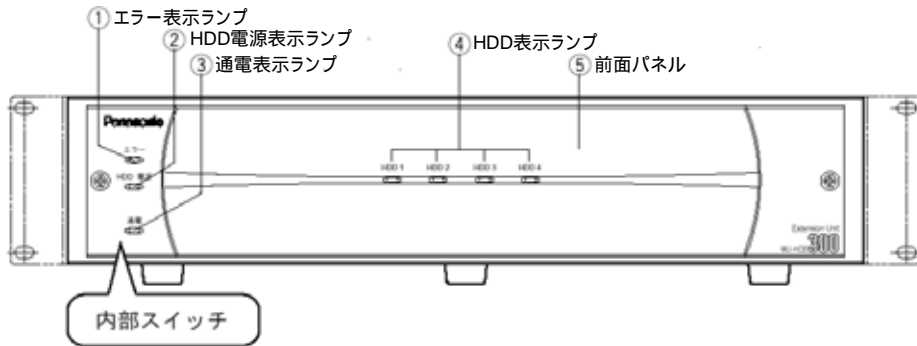
このたびは、増設ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
・この設置マニュアルおよび取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に取扱説明書の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

# 各部のなまえ

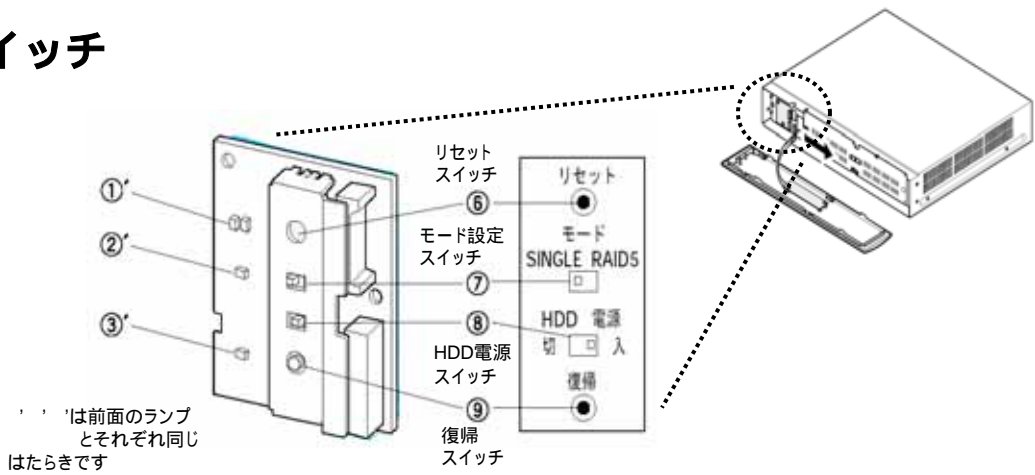
## 各部のなまえ

増設ユニット（WJ-HDE300シリーズ）の各部の名称について下図に記します。  
なお、詳細説明については、増設ユニット取扱説明書の「各部のなまえ」をお読みください。

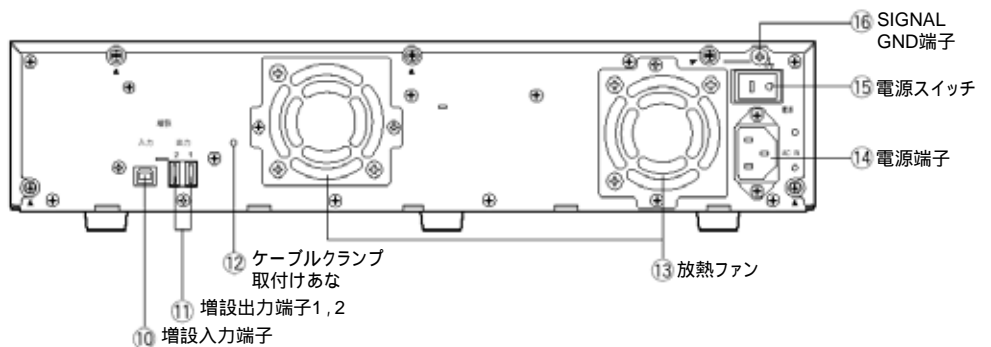
### 前面



### 内部スイッチ



### 後面



# 接続する

## 接続のしかた

本機 増設ユニットは、デジタルディスクレコーダー（WJ-HD300シリーズ）の増設ユニットです。

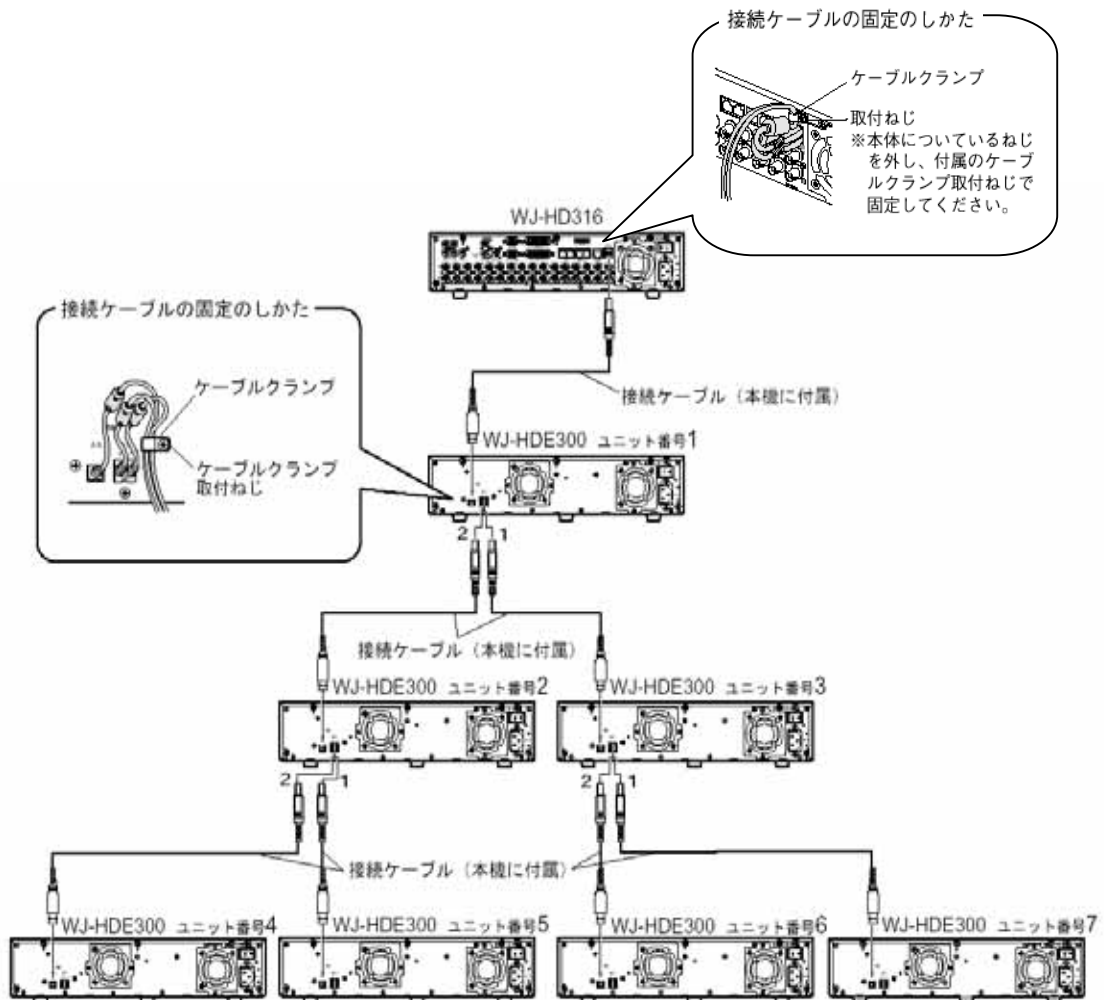
1台のデジタルディスクレコーダーに増設ユニットを最大7台まで接続できます。

新規設置時の接続に際しては以下の内容をお守りください。

また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置編「増設ユニットとの接続方法」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・必ず増設ユニットに付属の接続ケーブル（専用）を使用してください。
- ・接続ケーブルは、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- ・デジタルディスクレコーダーと増設ユニットを接続する場合は、下図のように接続してください。下図と異なる接続をすると、異なるユニット番号が付与される場合があります。また、運用を開始した後は、ユニット番号1、ユニット番号2の機器を入れ換えるなど、接続変更しないでください。変更すると、異なるユニット番号が付与される場合があります。その場合、デジタルディスクレコーダー側で増設ユニットが正しく認識されなくなることがあります。



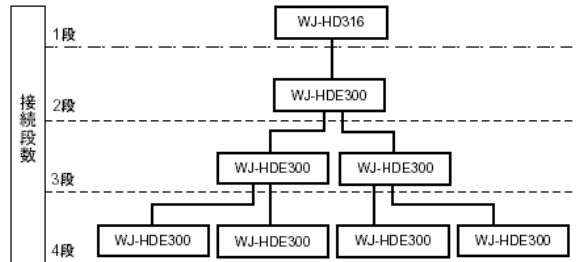
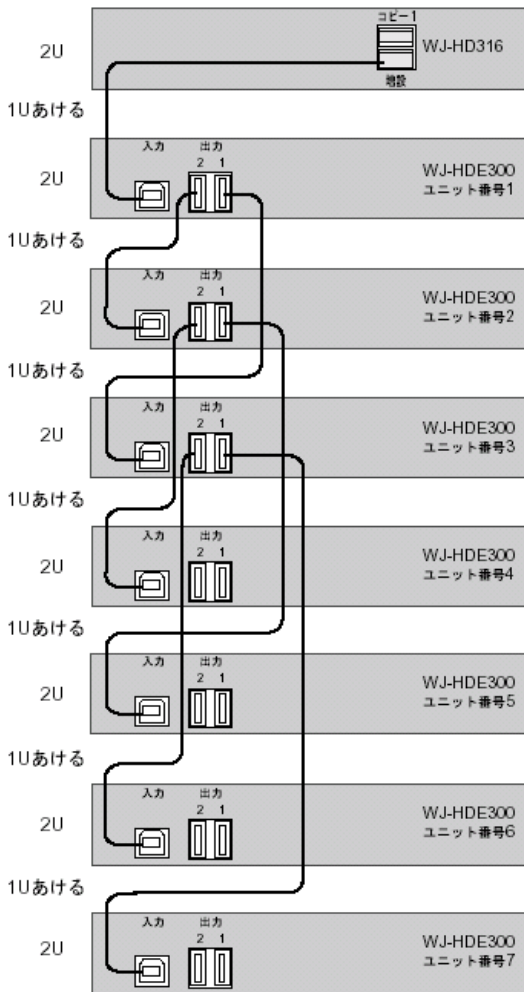
# 接続する（つづき）

## ラックマウント時の配線のしかた

### 重要

- ・放熱のため、組み込みは必ず上下1U（約44mm）以上の間隔をあけてください。
- ・必ず増設ユニットに付属の接続ケーブル（専用）を使用してください。
- ・接続ケーブルは、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- ・ケーブルをまわりこませたり、機器間を離しすぎると誤動作の原因になります。
- ・ユニット番号は、下図の接続方法にて新規設置した場合のユニット番号を示します。  
なお、実際のユニット番号を確認する場合は、デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで確認してください。詳細は「ユニット番号の確認のしかた」をお読みください。
- ・下図はデジタルディスクレコーダーを最上部に設置した場合の例を示します。同様にデジタルディスクレコーダーを最下部に設置することも可能です。

<ラック組み込み時>



台数：WJ-HD316が1台に対して本機7台まで。

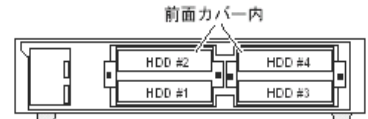
# 設定する

## SINGLEモードに設定する

初めてお使いになる場合は、以下の手順で増設ユニットをセットアップしてください。  
また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・同一システム内でSINGLEモードとRAID5モードを混在することはできません。
- ・HDDを後から取り付けた場合は、必ずHDD1 HDD2 HDD3 HDD4の順に搭載されていることをお確かめください。  
1番から順番に搭載されていない場合、デジタルディスクレコーダーから認識されず使用できません。



- 1 増設ユニットおよびデジタルディスクレコーダーの電源が切れていることを確認してください。



- 2 増設ユニット内部スイッチのモード設定スイッチを「SINGLE」に切り換えます。  
・工場出荷時設定は「SINGLE」です。



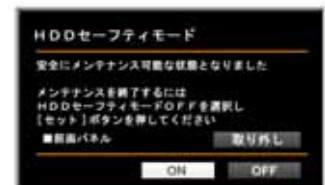
- 3 増設ユニットの電源を入れてください。



- 4 デジタルディスクレコーダーの電源を入れます。  
デジタルディスクレコーダーが起動します。



- 5 システムチェック終了後、HDDセーフティモード画面が表示されます。  
デジタルディスクレコーダーの 字ボタンで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの [セット] ボタンを押してください。  
デジタルディスクレコーダーが再起動します。



<デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモード画面>

### メモ

- ・デジタルディスクレコーダーですでに運用を開始していた場合は、HDDセーフティモード画面は起動しません。手順5は行わずに手順6へ進んでください。
- ・システムチェックが完了するまでに約3～5分かかります。

# 設定する ( つづき )

前ページより

- 6 デジタルディスクレコーダーのシステムチェック終了後、自動的にSIGNLEモードのディスクコンフィグメニューが表示されます。  
各HDDの初期化 ( フォーマット ) を行ってください。  
・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の  
工事説明・ディスク管理編「HDDを初期化する [ フォーマット ] 」をお読みください。



< デジタルディスクレコーダーの  
ディスクコンフィグメニュー(SINGLE) >

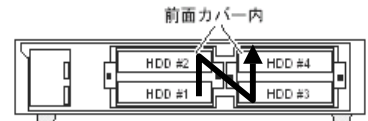
## 重要

- ・増設ユニットの電源を入れるときは、デジタルディスクレコーダーよりも先に入れてください。増設ユニットの電源を後から入れると、HDDが認識されません。
- ・増設ユニットの電源を切るときは、デジタルディスクレコーダーよりも後に切ってください。増設ユニットの電源を先に切ると、HDDの「REMOVEエラー」が発生し、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- ・いったん運用を開始した後は、増設ユニットの内蔵HDDの取付位置を変更しないでください。変更すると、記録したデータが正しく読み出せなくなります。

## メモ

- ・増設ユニットの内蔵HDDは、下図のように左下側スロットのHDD #1に搭載されたHDDから順番に1番 ( HDD1 ) と認識されます。以下にスロットに対するHDD番号の関係を示します。

スロット HDD #1 : HDD1  
スロット HDD #2 : HDD2  
スロット HDD #3 : HDD3  
スロット HDD #4 : HDD4



なお、HDDを搭載する際は、必ずHDD1 HDD2 HDD3 HDD4の順に搭載してください。  
1番から順番に搭載されていない場合、デジタルディスクレコーダーから認識されず使用できません。

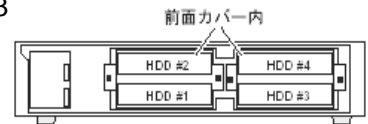
# 設定する（つづき）

## RAID5モードに設定する

初めてお使いになる場合は、以下の手順で増設ユニットをセットアップしてください。  
また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・同一システム内でSINGLEモードとRAID5モードを混在することはできません。
- ・RAID5モードでの運用をする場合、各増設ユニット内にHDDが3台以上必要です。  
セットアップ前には、必ず内蔵HDDの台数をお確かめください。
- ・HDDを後から取り付けた場合は、必ずHDD1 HDD2 HDD3 HDD4の順に搭載されていることをお確かめください。  
1番から順番に搭載されていない場合、デジタルディスクレコーダーから認識されず使用できません。



- 1 増設ユニットおよびデジタルディスクレコーダーの電源が切れていることを確認してください。



- 2 増設ユニット内部スイッチのモード設定スイッチを「RAID5」に切り換えます。  
・工場出荷時設定は「SINGLE」です。



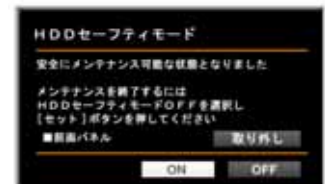
- 3 増設ユニットの電源を入れてください。



- 4 デジタルディスクレコーダーの電源を入れます。  
デジタルディスクレコーダーが起動します。



- 5 システムチェック終了後、HDDセーフティモード画面が表示されます。  
デジタルディスクレコーダーの [ 字 ] ボタンで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの [ セット ] ボタンを押してください。  
デジタルディスクレコーダーが再起動します。



<デジタルディスクレコーダーの  
HDDセーフティモード画面>

### メモ

- ・デジタルディスクレコーダーですでに運用を開始していた場合は、HDDセーフティモード画面は起動しません。手順5は行わずに手順6へ進んでください。
- ・システムチェックが完了するまでに約3～5分かかります。

# 設定する ( つづき )

前ページより

- 6 デジタルディスクレコーダーのシステムチェック終了後、自動的にRAID5モードのディスクコンフィグメニューが表示されます。  
各HDDの初期化 ( フォーマット ) を行ってください。  
・ 詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明・ディスク管理編「HDDを初期化する [ フォーマット ] 」」をお読みください。



< デジタルディスクレコーダーのディスクコンフィグメニュー ( RAID5 ) >

## 重要

- ・ 増設ユニットの電源を入れるときは、デジタルディスクレコーダーよりも先に入れてください。増設ユニットの電源を後から入れると、HDDが認識されません。
- ・ 増設ユニットの電源を切るときは、デジタルディスクレコーダーよりも後に切ってください。増設ユニットの電源を先に切ると、HDDの「REMOVEエラー」が発生し、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- ・ RAID5モードに設定すると、増設ユニットの各HDDのデータはすべて消去されます。また、デジタルディスクレコーダーの2台の内蔵HDDは使用できません。ただし、デジタルディスクレコーダーの内蔵HDD内の録画映像は残ります。
- ・ いったん運用を開始した後は、増設ユニットの内蔵HDDの取付位置を変更しないでください。変更すると、記録したデータが正しく読み出せなくなります。

## メモ

### ・ 増設ユニット WJ-HDE300シリーズについて

- WJ-HDE300/1、WJ-HDE300-W1 : HDDを1台搭載しています。
- WJ-HDE300/2、WJ-HDE300-W2 : HDDを2台搭載しています。
- WJ-HDE300/3、WJ-HDE300-W3 : HDDを3台搭載しています。
- WJ-HDE300/4、WJ-HDE300-W4 : HDDを4台搭載しています。

### ・ RAID5 ( Redundant Arreys of Inexpensive Disks ) 機能の概要

増設ユニットでは、RAID5機能を使用することができます。

RAID5機能は、増設ユニット内の3台以上のHDDを論理的に1台のHDDとみなし、エラー訂正データを自動的に付加することで、万が一、1台のHDDが故障しても残りのHDDのデータを読み出すことが可能です。ただし、2台以上のHDDが同時に故障したり、データの復旧中に他のHDDが故障した場合、データの復旧はできません。

RAID5機能を有効にした場合、増設ユニット内のHDDで構成される理論的な、おおよその容量は以下のようになります。

論理的な容量 = 増設ユニット内の最も小さいHDD × ( 増設ユニット内のHDDの台数 - 1 )  
搭載するHDDの種類によっては、容量が数%程度小さくなる場合があります。



# 設定する（つづき）

## HDDを初期化する（フォーマット）

初めてお使いになる場合やモード設定を変更した場合、および、HDDを交換 / 追加した場合などには、HDDの初期化を行う必要があります。

（RAID5モードで故障HDDの復旧を行う場合は、フォーマットの必要はありません。）

HDD（ユニット）を初期化する場合は、以下の手順で操作してください。

また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・ディスク管理編「HDDを初期化する [フォーマット]」も合わせてよくお読みください。

### 重要

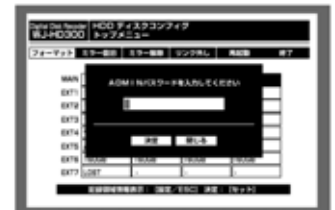
- ・HDDを初期化すると、録画された映像はすべて消去されます。

1. 増設ユニット、デジタルディスクレコーダーの順に電源を入れます。
  - ・デジタルディスクレコーダーが起動し、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。  
ディスクコンフィグメニューのトップ画面が表示されます。
  - ・HDDの交換をした場合は、自動的にディスクコンフィグメニュー画面が表示されます。



<デジタルディスクレコーダーのディスクコンフィグメニュー(SINGLE)>

2. 字ボタンの◀または▶を押して、「フォーマット」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。  
パスワード入力画面が表示されます。



<デジタルディスクレコーダーのパスワード入力画面>

3. ジョグダイヤル（内側）を回して、ADMINのパスワードを入力します。数字はカメラ選択ボタン（[1] ~ [10/0]）を押しても入力できます。
  - ・字ボタンの ◀ または ▶ を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

### 4 全てのHDD（ユニット）を初期化する場合

- ・字ボタンの◀または▶を押して、「全ディスク」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。  
RAID5設定時は「全ユニット」を選択します。  
録画領域設定画面が表示されます。

### HDD（ユニット）を個別に選択して初期化する場合

- ・字ボタンの ◀ または ▶ を押して、「1ディスク」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。  
RAID5設定時は「1ユニット」を選択します。  
HDD（ユニット）選択画面が表示されます。
- ・字ボタンの ( ◀▶ ) を押して、カーソルを初期化したいHDD（ユニット）に合わせ、[セット] ボタンを押します。  
録画領域設定画面が表示されます。



( SINGLEモード時 )



( RAID5モード時 )

<デジタルディスクレコーダーのフォーマット画面>



( SINGLEモード時 )



( RAID5モード時 )

<デジタルディスクレコーダーのHDD（ユニット）選択画面>

# 設定する（つづき）

前ページより

- 5 . 字ボタンの◀または▶を押して、録画領域を選択し、ジョグダイヤル（内側）を回して、選択した録画領域の容量を設定します。複数の録画領域の容量を設定する場合は、この操作を繰り返します。
  - ・設定したら [セット] ボタンを押します。  
フォーマット確認画面が表示されます。
  
- 6 . 字ボタンの◀または▶を押して、「開始」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。フォーマットが開始され、フォーマット結果画面が表示されます。表示後、自動的にディスクコンフィグのトップ画面に戻ります。



< デジタルディスクレコーダーの録画領域設定画面 >



< デジタルディスクレコーダーのフォーマット確認画面 >

# 設定を変更する

## RAID5モードで増設HDDの台数を変更する

RAID5モードで運用を開始してから増設ユニット 内蔵HDDを3台から4台（または4台から3台）に変更する場合は、以下の手順で操作してください。

また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・同一システム内でSIGNLEモードとRAID5モードを混在することはできません。
- ・RAID5モードでの運用をする場合、各増設ユニット内にHDDが3台以上必要です。
- ・RAID5モードで増設ユニット 内蔵HDDの台数を変更すると、変更した増設ユニットの各HDDの各HDDのデータはすべて消去されます。

- 1 HDDの台数を変更するため、デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードを「ON」にして、SET UPを終了します。

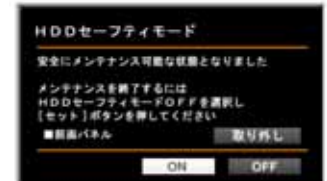
デジタルディスクレコーダーが再起動し、HDDセーフティモード画面が表示されます。

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置の前に編「メンテナンス（HDDの交換や設置作業など）時の操作手順」をお読みください。



<デジタルディスクレコーダーのSET UP MENU ディスク情報画面>

- 2
- ・HDDセーフティモード画面が表示され、増設ユニットのHDD電源表示ランプが消灯してから、増設ユニットの取扱説明書の「HDDの取り付け、取り外し」に従って、HDDの台数を変更してください。
  - ・HDDの台数を変更し、前面カバー、前面パネルの取り付けが完了した後、次に進みます。
  - ・増設ユニットの取扱説明書の「Cの場合：増設ユニット内のHDDをRAID5モードで台数を変更したとき」を合わせてお読みください。

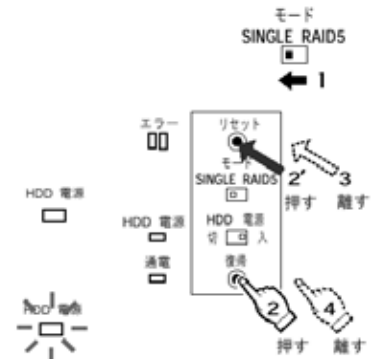


<デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモード画面>

- 3 増設ユニットの設定情報を初期化します。  
内部スイッチを以下の手順で操作してください。

### [ 初期化手順 ]

1. モード設定スイッチを「SINGLE」にします。
2. 復帰スイッチを押しながら、リセットスイッチを押します。
3. 約1秒経過したら、リセットスイッチを放します。
4. HDD電源表示ランプが点灯したら、復帰スイッチを放してください。（点灯までに約5秒かかります。）



### メモ

- ・複数の増設ユニットを初期化させる場合は、この手順1～4の操作を繰り返します。

# 設定を変更する（つづき）

前ページより

- 4 増設ユニット内部スイッチのモード設定スイッチを「RAID5」に戻します。



- 5 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの[セット]ボタンを押してください。

デジタルディスクレコーダーが起動され、システムチェック後、自動的にRAID5モードのディスクコンフィグメニューが表示されます。HDD台数を変更した増設ユニットのHDDの初期化（フォーマット）を行ってください。

- ・ 詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・ディスク管理編「HDDを初期化する[フォーマット]」をお読みください。



<デジタルディスクレコーダーのディスクコンフィグメニュー(RAID5)>

## メモ

- ・ システムチェックが完了するまでに約3～5分かかります。

# 設定を変更する（つづき）

## モード設定を変更する

運用を開始してからRAID5モードからSINGLEモード（またはSINGLEモードからRAID5モード）へ設定を変更する場合は、以下の手順で操作してください。  
また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・同一システム内でSINGLEモードとRAID5モードを混在することはできません。
- ・RAID5モードでの運用をする場合、各増設ユニット内にHDDが3台以上必要です。
- ・モード設定を変更すると、増設ユニットの各HDDのデータはすべて消去されます。

### 1 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードを「ON」にして、SET UPを終了します。

デジタルディスクレコーダーが再起動し、HDDセーフティモード画面が表示されます。

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置の前に編「メンテナンス（HDDの交換や設置作業など）時の操作手順」をお読みください。



<デジタルディスクレコーダーのSET UP MENU ディスク情報画面>

### 2 増設ユニット内部スイッチのモード設定スイッチを「SINGLE」（または「RAID5」）に切り換え、リセットスイッチを押します。

- ・工場出荷時設定は「SINGLE」です。

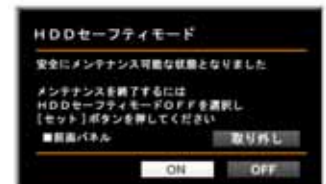


### 3 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの[セット]ボタンを押してください。

デジタルディスクレコーダーが起動され、システムチェック後、自動的にSINGLEモード（またはRAID5モード）のディスクコンフィグメニューが表示されます。

各HDDの初期化（フォーマット）を行ってください。

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・ディスク管理編「HDDを初期化する[フォーマット]」をお読みください。



<デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモード画面>

### 重要

- ・増設ユニットとデジタルディスクレコーダーの主電源を切れる場合は、新規設置時と同様に「SINGLEモードに設定する」「RAID5モードに設定する」に従って、モード設定を変更してください。
- ・いったん運用を開始した後は、増設ユニットの内蔵HDDの取付位置を変更しないでください。変更すると、記録したデータが正しく読み出せなくなります。

### メモ

- ・システムチェックが完了するまでに約3～5分かかります。

# エラーを解除する

## RAID5で故障HDD交換して復旧させる

RAID5モード運用中に増設ユニットのHDD表示ランプが赤点灯した場合は、対象の内蔵HDDが故障したことを示します。

RAID5では、万が一、1台のHDDが故障しても残りのHDDのデータを読み出し、復旧することが可能です。以下の手順で、直ちに故障したHDDを交換し、データの復旧を行ってください。また、増設ユニットの取扱説明書の「故障かな!？」 および デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「取扱説明」「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・HDD表示ランプが赤点滅した場合、2台以上のHDDが同時に故障したことを示します。2台以上のHDDが同時に故障したり、データの復旧中に他のHDDが故障した場合、データの復旧はできません。
- ・エラー表示ランプが赤点灯し、HDD表示ランプが赤色と橙色で点灯している場合は、システムの故障です。お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 1 故障HDDを交換するため、デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードを「ON」にして、SET UPを終了します。

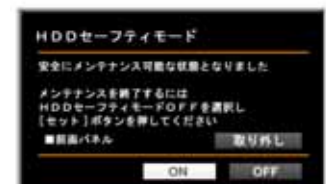
デジタルディスクレコーダーが再起動し、HDDセーフティモード画面が表示されます

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置の前に編「メンテナンス（HDDの交換や設置作業など）時の操作手順」をお読みください。



<デジタルディスクレコーダーのSET UP MENU ディスク情報画面>

- ### 2
- ・HDDセーフティモード画面が表示され、増設ユニットのHDD電源表示ランプが消灯してから、増設ユニットの取扱説明書の「HDDの取り付け、取り外し」に従って、HDDの台数を変更してください。
  - ・故障HDDを交換し、前面カバー、前面パネルの取り付けが完了した後、次に進みます。
  - ・増設ユニットの取扱説明書の「Dの場合：増設ユニット内のHDDをRAID5モードで交換したとき」を合わせてお読みください。

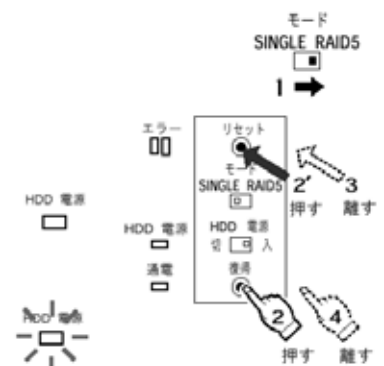


<デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモード画面>

- ### 3 増設ユニットのHDDデータを復旧します。
- 内部スイッチを以下の手順で操作してください。

#### [データ復旧手順]

1. モード設定スイッチが「RAID5」になっていることを確認します。
2. 復帰スイッチを押しながら、リセットスイッチを押します。
3. 約1秒経過したら、リセットスイッチを放します。
4. HDD電源表示ランプが点灯したら、復帰スイッチを放してください。（点灯までに約5秒かかります。）



### メモ

- ・複数の増設ユニットのHDDデータを復旧する場合は、この手順1～4の操作を繰り返します。

# エラーを解除する（つづき）

前ページより

- 4 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの[セット]ボタンを押してください。

デジタルディスクレコーダーが起動されます。  
システムチェック完了画面が表示されているときに[セット]ボタンを押し、手動でディスクコンフィグメニューを表示し、「終了」してください。

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の取扱説明・準備編「起動する」をお読みください。



<デジタルディスクレコーダーのシステムチェック完了画面>



## 重要

- ・増設ユニットで使用できるHDDについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。指定以外のHDDを使用された場合の動作保証はできません。また、HDDは全て同じ機種のものを使用してください。同じ容量のHDDでも機種が異なると、実際の容量が数%程度小さくなる場合があります。
- ・データ復旧中に、増設ユニットのスイッチに触れないでください。データの復旧中に電源スイッチを切ったり、スイッチを操作したりするとデータの復旧が中断され、正常に復旧できなくなる恐れがあります。データの復旧中は、HDD表示ランプが橙/赤に交互点灯します。データの復旧が完了すると消灯または緑点滅になります。
- ・RAID5モードでは、HDDが1番から正しい順番で搭載されていない場合、および、HDDが3台以上搭載されていない場合にもHDD表示ランプが赤色に点灯/点滅します。HDDを正しい順番に変更してからエラーを解除し、増設ユニットの再設定をしてください。

## メモ

- ・交換したHDDのデータを完全に復旧するには、160GBの場合で12時間程度（目安）かかります。
- ・増設ユニットがデータの復旧中でも、デジタルディスクレコーダーの運用を開始できます。ただし、復旧中の増設ユニットに記録・再生している場合は、復旧時間がさらに長くなる場合があります。
- ・システムチェックが完了するまでに約3～5分かかります。

# エラーを解除する（つづき）

## エラー解除して再設定（設定変更）する

RAID5モードで増設ユニットのエラー表示ランプが赤点灯、もしくは、HDD表示ランプが赤点灯 / 点滅している場合は、RAID5モードの再設定（またはモード設定の変更）はできません。まずは、エラー状態を回避してから、再設定（または設定変更）する必要があります。そのエラー原因がHDDの故障にある場合は、以下の手順で操作してください。また、増設ユニットの取扱説明書の「故障かな!？」 および デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- ・HDD表示ランプが赤色に点灯 / 点滅している場合は、HDDが故障しています。以下の手順に従って、HDDを交換してください。
- ・RAID5モードでは、HDDが1番から正しい順番で搭載されていない場合 および HDDが3台以上搭載されていない場合にもHDD表示ランプが赤色に点灯 / 点滅します。HDDを正しい順番に変更してからエラーを解除し、増設ユニットの再設定をしてください。
- ・エラー表示ランプが赤点灯し、HDD表示ランプが赤色と橙色で点灯している場合は、システムの故障です。お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 1 故障HDDを交換するため、デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードを「ON」にして、SET UPを終了します。

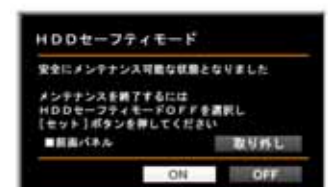
デジタルディスクレコーダーが再起動し、HDDセーフティモード画面が表示されます。

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置の前に編「メンテナンス（HDDの交換や設置作業など）時の操作手順」をお読みください。



< デジタルディスクレコーダーのSET UP MENU ディスク情報画面 >

- ### 2
- ・HDDセーフティモード画面が表示され、増設ユニットのHDD電源表示ランプが消灯してから、増設ユニットの取扱説明書の「HDDの取り付け、取り外し」に従って、HDDの台数を変更してください。
  - ・故障HDDを交換し、前面カバー、前面パネルの取り付けが完了した後、次にすすみます。

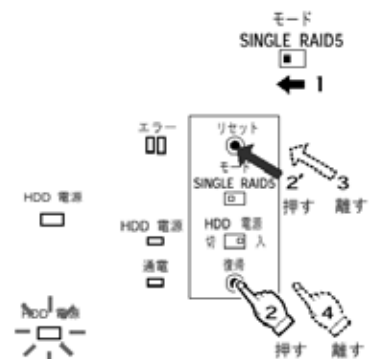


< デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモード画面 >

- ### 3 増設ユニットの設定情報を初期化します。
- 内部スイッチを以下の手順で操作してください。

#### [ 初期化手順 ]

1. モード設定スイッチを「SINGLE」にします。
2. 復帰スイッチを押しながら、リセットスイッチを押します。
3. 約1秒経過したら、リセットスイッチを放します。
4. HDD電源表示ランプが点灯したら、復帰スイッチを放してください。（点灯までに約5秒かかります。）



### メモ

- ・複数の増設ユニットを初期化する場合は、この手順1～4の操作を繰り返します。



# エラーを解除する（つづき）

前ページより

- 4 RAID5モードに再設定する場合は、増設ユニット内部スイッチのモード設定スイッチを「RAID5」に戻します。  
（SINGLEモードに設定を変更する場合は、次に進みます。）



- 5 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの[セット]ボタンを押してください。

デジタルディスクレコーダーが起動され、システムチェック後、自動的にRAID5モード（またはSINGLEモード）のディスクコンフィグメニューが表示されます。

各HDDの初期化（フォーマット）を行ってください。

- ・詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・ディスク管理編「HDDを初期化する[フォーマット]」をお読みください。



< デジタルディスクレコーダーのディスクコンフィグメニュー(RAID5) >

## 重要

- ・増設ユニットで使用できるHDDについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。指定以外のHDDを使用された場合の動作保証はできません。また、HDDは全て同じ機種のものを使用してください。同じ容量のHDDでも機種が異なると、実際の容量が数%程度小さくなる場合があります。
- ・同一システム内でSIGNLEモードとRAID5モードを混在することはできません。
- ・モード設定を再設定 / 変更すると、増設ユニットの各HDDのデータはすべて消去されます。

## メモ

- ・システムチェックが完了するまでに約3～5分かかります。

# ユニット番号を確認する

## ユニット番号の確認のしかた

増設ユニットのユニット番号は、「接続のしかた」の接続方法で新規設置した場合、図中に記した通りのユニット番号が付与されます。

実際のユニット番号を確認する場合は、デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで確認することができます。以下の手順で操作してください。

また、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の「工事説明」も合わせてよくお読みください。

### 重要

- 運用を開始した後は、ユニット番号1、ユニット番号2の機器を入れ換えるなど、接続を変更しないでください。変更すると、異なるユニット番号が付与される場合があります。その場合、デジタルディスクレコーダー側で増設ユニットが正しく認識されなくなることがあります。

### 1 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードを「ON」にして、SET UPを終了します。

デジタルディスクレコーダーが再起動し、HDDセーフティモード画面が表示されます。

- 詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置の前に編「メンテナンス（HDDの交換や設置作業など）時の操作手順」をお読みください。



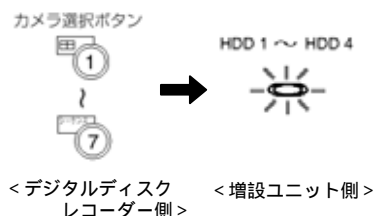
< デジタルディスクレコーダーのSET UP MENU ディスク情報画面 >

### 2 HDDセーフティモード画面が表示後、増設ユニットのHDD電源表示ランプが消灯します。

- デジタルディスクレコーダーのカメラ選択ボタンの「1~7」を順に押して、増設ユニットのユニット番号を確認してください。

カメラ選択ボタンの番号（=ユニット番号）に対応した増設ユニットのHDD表示ランプが赤点灯（約5秒間）します。

例えば、カメラ選択ボタン「1」を押すとユニット番号1の増設ユニットのHDD表示ランプが赤点灯します。

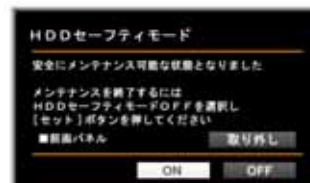


< デジタルディスクレコーダー側 > < 増設ユニット側 >

### 3 デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモードで「OFF」を選択して、デジタルディスクレコーダーの[セット]ボタンを押してください。

デジタルディスクレコーダーが起動され、システムチェック後、自動的に運用が開始されます。

- 詳細は、デジタルディスクレコーダーの取扱説明書の工事説明・設置の前に編「メンテナンス（HDDの交換や設置作業など）時の操作手順」をお読みください。



< デジタルディスクレコーダーのHDDセーフティモード画面 >



### メモ

- RAID5モードで運用中にHDDが故障し、HDD表示ランプが赤点灯/点滅している場合、その赤点灯/点滅しているランプは、ユニット番号を確認する際にそれ以外のHDD表示ランプが赤点灯しているときも、赤点灯/点滅の状態を保持します。